

第8回気候変動勉強会を開催

一般社団法人日本損害保険協会（会長：新納 啓介）は、3月15日（金）、損保会館で第8回気候変動勉強会を開催しました。

損保協会では、第9次中期基本計画（2021年度～2023年度）の重点取組みとして、損保各社の気候変動対応が前進することを目的に、これまで計7回の勉強会を開催してきました。

第8回気候変動勉強会は、会員各社の各部門から会場とオンラインで計428名が参加しました。第9次中期基本計画の最終年度における総括として、改めて、気候変動対応の必要が高まっている背景、直近の世界情勢・国内情勢、各業界の取組み、損保社員が取り組むべき理由等について理解を深めるため、環境省から、大臣官房 環境経済課課長の平尾 禎秀氏をお招きし、「環境金融の進展と今後の展望」と題して主に次の内容についてご講演いただきました。

- ・カーボンニュートラルの実現に向けた国内外の動向
- ・気候変動への適応について
- ・統合的なアプローチ
- ・金融における実践
- ・地域金融での展開
- ・中小企業だからこそ、脱炭素経営

開催に際し、鈴木企画部会長から、「損保業界に期待される役割を發揮するためには、損保業界で働く一人ひとりが、気候変動対応への理解を深め、行動変容を進めることが大切であり、今回の勉強会が行動変容に繋がる機会となれば幸い。」と挨拶がありました。

また、参加者からは「気候変動がもたらす影響の大きさにあらためて考えさせられた。金融機関としてやるべきことをしっかり考えていきたい。」などの感想も寄せられました。

会員会社各部門の社員を対象に気候変動に関わる知識・理解向上を図ることを目的とした勉強会は今回が最後となりますが、次年度からは気候変動の実務者における意見交換会等を実施し、より実務的な課題について深度ある検討を進め、気候変動・サステナビリティの取組みを業界一丸となって推進してまいります。



講師：平尾課長
(環境省)



挨拶：鈴木部会長



司会：竹田課長
(あいおいニッセイ同和)



挨拶：大知専務理事

以上